

# 令和6年9月定例教育委員会会議録

- 1 日 時 令和6年9月26日(木) 午後3時～午後4時10分
- 2 場 所 氷見市役所 教育委員会室
- 3 出席者 有島洋之教育長、湖東政俊職務代理者、關野洋香委員、圓山留美委員、佐原孝信委員

## 4 職務のため出席した事務局員

天坂教育次長、西参事、尾山学校教育課長、小谷文化振興課長(兼博物館長)、西島スポーツ振興課長、山口教育総合センター所長、坂下学校給食センター所長、長谷川図書館長、大谷内学校教育課長補佐、砂山文化振興課長補佐、田邊スポーツ振興課長補佐

## 5 協議事項

### 【報告案件】

- (1) 報告第1号 令和6年度氷見市児童生徒科学作品展覧会について(教育総合センター)
- (2) 報告第2号 令和6年度「ひみっ子の夢と希望」きらめき推進事業(教育総合センター)  
【小学校】音楽会の開催について 【中学校】講演会の開催について
- (3) 報告第3号 特別展「氷見と樹の文化史」の開催について(博物館)

## 6 会議内容

- (1) 教育長の挨拶
- (2) 教育長の報告

令和6年8月30日(金)から9月26日(木)までの教育委員会所管事項を、有島教育長が報告した。

9月市議会定例会の質問については各担当課長が説明した。

### [質疑応答]

#### ・9月市議会定例会について

委 員 ICT 教育について、私はハイブリッド型の交流を通して小規模校の活動を支援している。大変よいと思う。先日、学校訪問研修会で海峰小学校に行ってきた。ちょうど灘浦小学校と公開授業の中でお互い大変スムーズにやり取りしていたので、こういうことをしていけば統合まで考える必要もないかなと思った。さらに、合同学習も校長や先生方も皆そろって行くとのことで、いろんな繋がりができてよいと思う。このまま進めていただければありがたい。

授業は普通の教科でなくて道徳であった。道徳の授業でも交流や自分の考えをうまく話していた。先生同士うまく連携が取れていて、先生2人で授業をしている感じではなかった。

委員 各学校における後援会費の徴収について、厳しい意見もあったが、町内としては、地域の子供たちの成長を願う取り組みやバックアップができるなら、というような意見が多くて私は問題ないと思っている。

事務局 答弁のなかでも後援会費をいただいていることは大変感謝しているとお伝えした。後援会費は各学校ごとに集めている金額も違い、それぞれの後援会独自で徴収しているのでこのまま継続していただければと思っている。

委員 朝日丘小学校と南部中学校の後援会費は、自治会の人数によって出している。ただ一律に出しているのではなく、町内で協力できる分を出しているので町内としても助かっている。子供たちが少なくなっているなか、元気に登下校したり活動したりすることがありがたい。できるだけ子供たちが活躍してほしいと思っている。

### (3) 協議内容

報告第1号、報告第2号は山口教育総合センター所長が、報告第3号は小谷博物館長が説明、報告した。

#### [質疑応答]

・児童生徒科学作品展覧会について

委員 今年も力の入った作品が多かった。

委員 4年生はなぜこのようにたくさん出品や受賞をしているのか。

事務局 分からないが、低学年から継続して頑張っている子供がこの学年には多い。

委員 継続的に熱心に取り組んでいて素晴らしい。

委員 審査後に、もっとこうした方がよかったというアドバイスをいただきたい時は、教育総合センターに行けばよいか。

事務局 審査に関わっているのは教育総合センターの職員ではなく、理科の専門の方が行っているなので、その視点で各学校の理科の先生に聞くのがよいと思う。

(4) 10月の行事予定を各所属長がそれぞれ説明した。

(5) 11月の定例教育委員会議の開催日時を11月28日(木)午後3時に決定した。

7 閉 会 午後4時10分

教育長

教育長職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員